



BRAND research

O.Z.

アバルトの脚元を演出するのは
同じイタリアブランドの O.Z で間違いない

文●武田公美 text by TAKEDA Hiromi
写真●O.Z. S.p.A. / Stellantis / Automobili Lamborghini S.p.A.



オーゼットジャパン TEL : 053-469-5011 www.oz-japan.com



O.Zのホイールはアバルトの市販モデルに正式採用されている。ウルトラレジューラは、695ピポストのホイールに選ばれている（写真左）。
また、アバルトレーシングチームもO.Zホイールを選択。アバルトの足元はO.Zが定番とっていいだろう





勝ちにいくならOZを選ぶべし

アロイ（軽合金）ホイールの世界におけるイタリア代表、「OZ」のはじまりは1971年。創業者のシルヴァーノ・オゼッラドーレ（Silvano Oselladore）とピエトロ・ゼン（Pietro Zen）のイニシャルをとって「O・Z」と名づけたアロイホイールを創ろうとしたことに端を発する。

BLMC およびイノチェンティ・ミニ・クーパー用に開発された最初の軽合金ホイールが、この年から職人たちの手により製造された。10インチ径のOZホイールを装着したミニ・クーパーたちは、当時のラリー競技で目覚ましい成績を上げる一方で、「ミニライト」や「コスミック」など英国製のミニ用軽合金ホイールとは一線を画した、イタリアらしいスタイリッシュなデザインでも注目を浴びてゆくことになった。

OZの評価は次第に高まり、1975年頃には有力なプライベートチームとともに数々の勝利を挙げるようになる。そして1978年になると、投資家イスナルド・カルタの公式支援を受け、「OZ S.p.A.」が正式に設立された。

1984年には、OZ S.p.A.の現取

締役社長であるクラウディオ・ベルノーニの主導により、OZのレーシング用ホイールを開発・製造する「O.Z. Racing」を設立。翌1985年にはF1モノポストマシン向けのホイールも製造開始した。マグネシウム合金とアルミニウム合金によるツーピース構造のOZレーシングホイールを最初に供給したF1チームは「アルファロメオ・ユーロレーシング」。当時のドライバーは、リカルド・パトラーゼとエディ・チーパールの2名だった。

一方、OZは急速に需要の伸びていた海外市場にも目を向け、1989年には初の海外法人として「オーゼット・ジャパン」を設立。1993年には「OZドイツ」も設立した。そして、スーパーカーやプレミアムカーをベースとするコンプリート・チューンドカーでは、OZ製のアロイホイールが必須アイテムとなってゆく。

加えてこの時代からは、フェラーリF40やランボルギーニ・カウンタック・アニバーサリー／LM002、ロータス・エスプリ／M100 エランなど、世界の名だたるスーパーカーやプレミアムカー

が、それぞれのメーカー純正ホイールとしてOZを選択することになった。

1994年には、イタリアの伝統的本分であるデザインをさらに深化させるべく、自社のスタイルセンターである「デザインラボ」を設立。その傍ら、既にレース界で確たる地位を築いていたOZレーシングは1993年からウィリアムズ・チームと提携し、アラン・プロストやデーモン・ヒル、ジャック・ヴィルヌーヴらにF1選手権タイトルをもたらした。

さらにFIGPでは、ルノーやレッドブル、そしてスクーデリア・フェラーリなどのオフィシャルサプライヤーを長年務めたほか、ドイツのDTM選手権（アルファロメオ）や北米CART選手権、FIA世界ラリー選手権（プジョー、シトロエン、トヨタ、スバルなど）で数々の勝利に貢献。ル・マンをはじめとするFIA世界耐久選手権では、アウディ・チームと手を携えて連勝を重ねるなど、21世紀となったのちも「レースに勝ちたいならばOZを選ぶべし」という不文律が、あたかも勝利のセオリーとして継承されてゆく。

そして2021年。今や誰もが認める名門ブランドとなったOZは、WRC選手権の21連覇、F1世界選手権で14連覇、MotoGPで4連覇、フォーミュラEでは6連覇などの輝かしいレーシングヒストリーとともに、創業50周年を祝うことになったのだ。

かつてのイタリアではカンパニョーロやクロモドラ、スピードラインなど数多くのホイールブランドが存在したが、今なお第一線でアフターマーケット用ホイールを継続的に展開しているのはOZのみ。現在では、ロードカー用としてもOZ Racingブランドが設定されるようになったほか、OZ内で複数のサブブランドも展開されている。アバルトでは市販モデルの695ピポストに正式採用されたほか、アバルトラレーシングチームの124ラリーにもOZが採用されていることは、F&A読者ならご存知であるだろう。

アバルトの足元を、イタリアらしいデザインとパフォーマンスのアロイホイールで引き締めたいならば、やはりOZで……。それは、当然とも言える選択なのだ。🇮🇹



OZ



アバルトの脚元を演出するのは 同じイタリアブランドの OZ で間違いない

文●塩見 誠 text by SHIOMI Makoto
 写真●清水良太郎 photos by SHIMIZU Ryotaro
 取材協力●レッドポイント special thanks to RED POINT

アバルトはカルロ・アバルトがイタリア・トリノで創業したチューニングブランドだ。そして OZ は同じイタリアのヴェネト州で創業されたホイールブランドである。OZ は古くから、モータースポーツに注力してきた。そのこともあってアバルトのマシンは、OZ のホイールがその足もとを支えてきた。それは現代でも同じ。ロールケージが組み込まれたレーシングマシン、アバルト 500 アセットコルセのホイールは、アバルトのサンリマークが表記されたオーゼットの専用用品「スコルピオーネ」である。

このように、アバルトと OZ のつながりは深い。そのため、一般的なオーナーがカスタマイズを考えるときには、この関係性の深さを上手く利用したほうが、全体のイメージをまとめやすくなる。もちろん、チンクエチェント／アバルト 595 に求めるイメージは、それぞれのオーナーによって異なるだろう。純粋にスポーツイメージを見せたい人もいれば、かわいくポップに見せたい人だっているはずだ。その点で OZ のホイールラインナップやカラーバリエーションの豊富さは、大きな武器

となってくれるだろう。

その上で、OZ のホイールをセットしているということは、これまでの伝統をきちんと受け継ぐ正統派のカスタマイズを感じさせてくれるので、誰が見てもスタイリングがすっと腑に落ちる。チューニングやドレスアップといったカスタマイズは、全体のバランスを崩さないということがもっとも重要なポイントだ。どこかを派手にした場合には、そこだけが目立ってしまってまとまりが悪くなりがちだ。しかしホイールに OZ を選んでおけば、その組み合わせが強

固なので、バランスが崩れにくいのだ。

今回、そんな OZ のホイールを用意し、サイズ違いも含めて実車でマッチングを確認した。アバルト 595 はフロントにプレンボ製対向ピストンキャリパーを装備しているため、ホイール内側とのクリアランスが厳しい。その点も含めて実際の装着イメージを確認していくことで、愛車のホイール選びの参考になれば幸いだ。個人的なおすすめは 16 インチ。インパクトの強さでいえば 17 インチなのだが、ボディとのまとまりのよさは 16 インチだろう。ER

WHEEL MATCHING



Rally Racing
 color : Dark Graphite/Silver lettering
 Size : 16 × 7.0J/ET35

右上のホワイトのアバルト 595 にセットしている赤のラリーレーシングも 16 インチ。ボーイズレーサー的なイメージが強くなる



Rally Racing
 color : Gloss Black/Silver lettering
 Size : 16 × 7.0J/ET35

16 インチは対向ピストンキャリパーとのクリアランスが心配だが、ラリーレーシングは問題なく装着ができるようになっている



SPARCO TERRA
 color : White/Blue lettering
 Size : 16 × 7.0J/ET37

オーゼットがスパルコとコラボして製作したスパルコ・テラ。16 インチでも問題なく装着が可能。キャリパーもスポーク間から見える



LEGGENDA
 color : White/Red lettering
 Size : 17 × 7.0J/ET37

レジェンダはアセットコルセに装着されているスコルピオーネと同じデザインを採用したホイール。スポーツイメージの強さが魅力



LEGGENDA
 color : Matt Black/White lettering
 Size : 17 × 7.0J/ET37

スポークの立ち上がりが強いため、キャリパーとのクリアランスが大きいのもポイント。ブレーキシステムのレベルアップも可能だ



ULTRALEGGERA
 color : Matt Graphite
 Size : 17 × 7.0J/ET35

ウルトラレジェーラの特長は、軽さにある。このマットグラファイトカラーは 695 ピストで採用されたホイールと同じものだ



アバルト595とOZのマッチングを実車で確認



ULTRALEGGERA
color : Race White
Size : 17 × 7.0J/ET35

ウルトラレジェーラの限定色、レースホワイトバージョンがこれ。スポーティというよりもレーシーなテイストを魅せることができる



ULTRALEGGERA
color : Matt Black
Size : 16 × 7.0J/ET35

695ピスト用ホイールと同じデザインをもちながら小径化を実現したウルトラレジェーラ16インチ。より軽いので走りにも効く



SPARCO PRO CORSA
color : Gloss Black
Size : 17 × 7.5J/ET35

スパルコブランドの意欲作がこのプロコルサ。17インチ7.5J幅のインセット35というのは、他メーカーにはない攻めたサイズ設定だ



SUPERTURISMO WRC
color : Race White/Red lettering
Size : 17 × 7.0J/ET35

スーパーツーリズムWRCはPCD100-4H。そのため装着する際はスライドボルトを使う必要がある。スポーティなフィンデザインが特長



SUPERTURISMO GT
color : Matt Black/Red lettering
Size : 17 × 7.0J/ET35

GTという名の通り、サーキット走行をターゲットとしたスーパーツーリズム。こちらもハブはPCD100の4H。スライドボルトで対応する



Rally Racing
color : Dark Graphite/Silver lettering
Size : 17 × 7.0J/ET37

このラリーレーシングは17インチサイズ。ホイールのインパクトは16インチサイズと比べるとより強くなる。カラーはダークシルバーだ